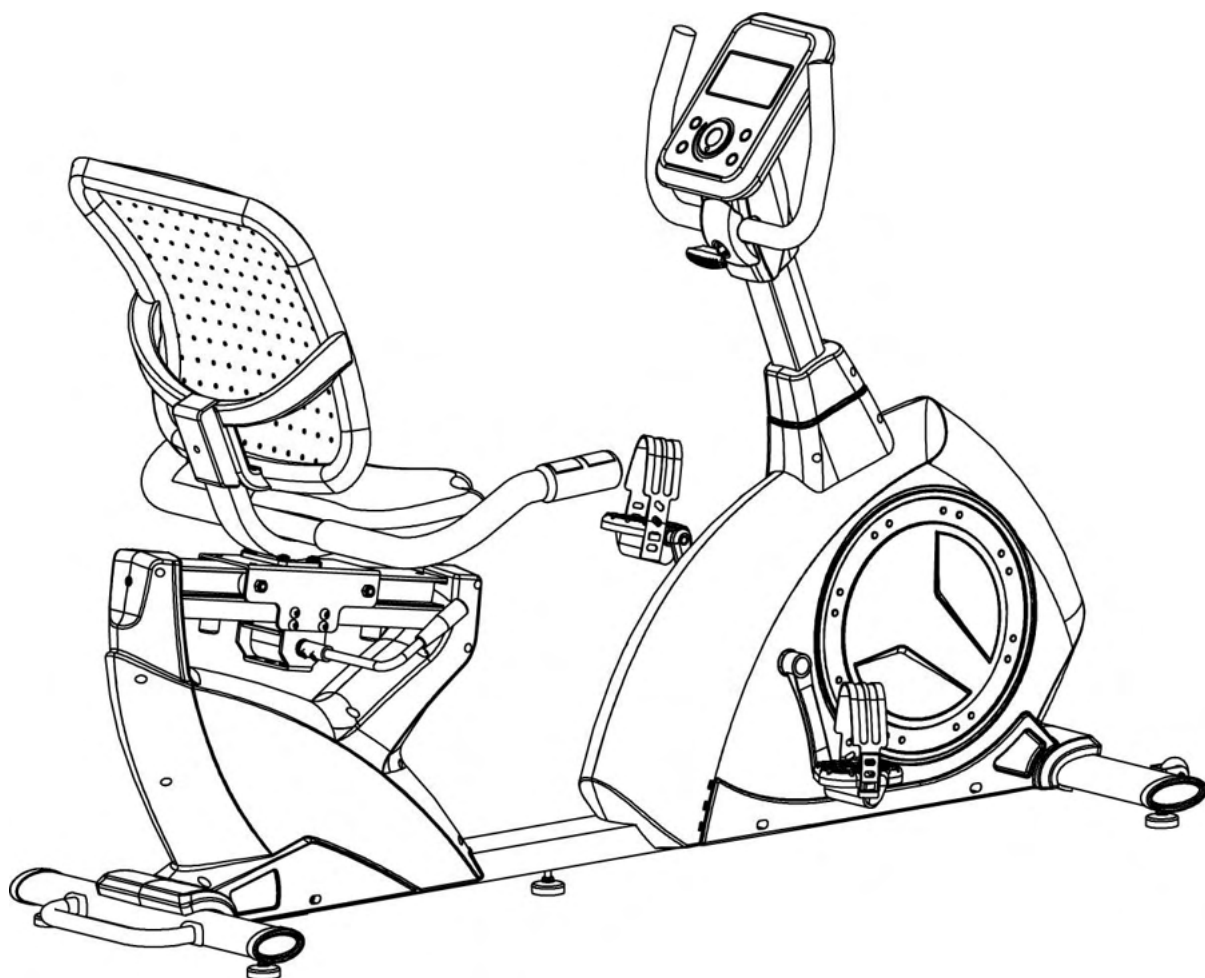




家庭用リカンベントバイク DK-8718RP

取扱説明書



このたびはリカンベントバイク(家庭用)DK-8718RP をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

◎まず、本説明書を最後までお読みください。運動器具は一般的な家電製品と違い、人の体重や大きな力が掛かる器具の為、若干のメンテナンスを必要とします、本説明書の内容を十分ご理解いただいた上で正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

◎ 本書巻末に「保証書」がついていますので、配送業者の送り状伝票とともに大切に保管してください。

◎ 本機は家庭用※として軽頻度の運動向けに開発・設計しています。

※設計上、トレーニングジム・介護・福祉・教育の現場、ホテル・マンション・オフィスなどの共用設備の使用は想定していません。

保証の期間・内容に影響しますので予め用途をご確認くださいようお願い申し上げます。

◎ 改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。

※本書に記載されている数値は、実数と多少の差異が生じる場合があります。予めご了承ください。

安全上の注意

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって2段階に別れております。
記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告 誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



注意 誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容



警告

☆使用上の警告

- 無理をせず軽い負荷・遅いスピードから始めて下さい。
- 急激な運動は体に負担が掛かりますので、少しでも異常を感じましたら運動を中止して医者にご相談下さい。
- お子様が、本機を使用したり、遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様が近づかないようにして下さい。お子様、お年寄りの方が運動されるときには、必ず付添の人をつけて行って下さい。
- お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方のトレーニング・リハビリ用にご使用の場合、必ずかかりつけの医師にご相談下さい。
特に次のような方（心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人口心肺装着の方）
- 内部点検や修理の際は販売店の指示に従って下さい。
各部の機能が正しく作動しているかどうか、またネジ・ボルト等の緩みやガタがないか、使用前に必ず点検して下さい。
- 乗降する場合には、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押したり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなったり、安全性を損ないケガをしたりする場合があります。
- 同時に2人以上でご使用なさないで下さい。
- 裸足でのご使用はせず必ず、靴を履いて運動を行ってください。その際、紐等がペダル等にかからみつかないように処理してから行ってください。

<使用時間を守ってください！>

本製品を末長くご使用していただくために、下記に示す使用時間を必ず守ってください。

●連続使用時間は**60分**までです。

●次に使用するときには、先に使った時間の**倍**以上のインターバルを取ってください。

（例：30分間使用⇒60分間以上マシンを休ませる）



注 意

☆使用上の注意事項

- 1) トレーニングの前後に必ずストレッチ（準備体操）を入念に行ってください。
トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行うように習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングはやめましょう。胃に流れる血液が、体を使うことにより胃に流れにくくなって消化に影響を与えるので、食後2時間位あけてトレーニングをして下さい。
- 3) 60分以上の連続使用はしないでください。
- 4) 運動方法につきましては、使用方法以外での使用はおやめ下さい
- 5) 本機は一般家庭用として作られていますので、一般家庭以外でのご使用はおやめ下さい。
(ご使用の場合は無償修理交換の対象外になります。)
- 6) 異物を商品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります、特にお子様のおられるご家庭では注意して下さい。
- 7) 体重が100Kg以上の方はご使用なさらないようにして下さい。
- 8) 適身身長（約150～190cm）以外はご使用にならないで下さい。
- 9) 速度30km/h以上・高い負荷での連続使用はおやめください。
- 10) サビの発生や負荷の調節不調、メーター等の故障の原因となりますので次の場所には設置、保管はしないで下さい。
 - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
 - ・屋外の設備（屋根付ガレージ等）や浴室付近等の湿気の多い場所
 - ・磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く
 - ・床面がコンクリートの打ちっ放しの所（マット等を敷いた場合でも不可）

* 保管場所が適正でない場合には保証期間内であっても、修理等は「有償」になります。

☆保管上の注意事項

- ご使用前にはハンドル・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 本機は使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 本体には絶対に寄りかかったり、乗らないで下さい。
- 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、必ず整理整頓してからご使用下さい。
- 本機は必ず平らな場所に設置して下さい。
- 廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。必ず、布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。
- 本機を廃棄する場合は、粗大ごみとして各自治体の方法に従って処理してください。
- ペダル及びベルト、サドル、バックレスト、ハンドル等のラバーは消耗品のため、ご購入日より3ヶ月以上経過したものについては有償となります。

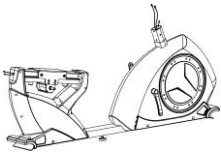
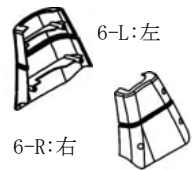
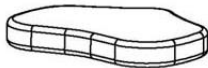
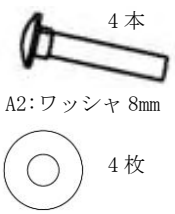
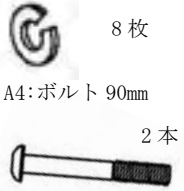
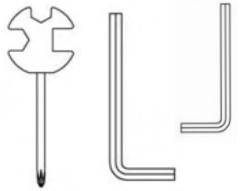
仕 様

品 名/リカンベントバイク
電 源/100V ACアダプター
材質構造/スチールパイプ・ウレタン・ABS樹脂
メーター/ABS樹脂
負荷調整/電動式
脈拍検知方式/グリップ式
寸 法/W66×L170×H108 (cm)

品 番/DK-8718RP
表示方式/液晶パネル
使用体重制限/100kg
JAN : 4582246938713
生産国/中国
本体重量/45kg

部品一覧表

パーツ表の中には本体に装着されているものがあります。ステップごとに必ず確認してから組立ててください。

1:本体 	2:フロントスタンド (キャスター機能付) 	3:リアスタンド 	4:リアフック 	5:パネルポスト 
6: ポストカバー 6-L:左 6-R:右 	7:ハンドルレバー 8:ハンドルカバー1 	9:スペーサー 10:ワッシャ 	11:フロントハンドル 	12:パネル 
13 ハンドルカバー2 	14:ペダル・バンド 14-L:左 14-R:右 	15:シートフレーム ハンドル付 	16:レバー・ボルト 	17:バックレスト 
18:サドル 	19:フレームカバー 20:AC アダプター 	A1:ボルト 60mm 4本 A2:ワッシャ 8mm 4枚 	A3:S ワッシャ 8mm 8枚 A4:ボルト 90mm 2本 	A5:ワッシャ 2枚 A6:スクルーネジ 5本 
A7:ボルト 15mm 8本 A8:ワッシャ 4枚 	A9:ネジ 4本 (パネル用) A10:ボルト 12mm 4本 	A11:ワッシャ 8枚 A12:ボルト・ワッシャ 各4 	工具類 	

組立方法

＊組み立てる前にすべての部品が揃っているかを確認した後、ステップ 1 から順番に組み立てて下さい。

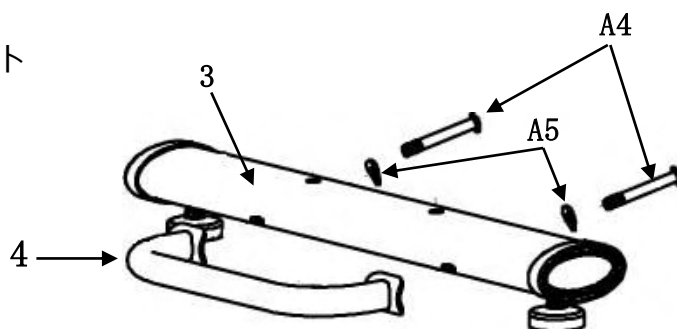
（1・本体についているネジが欠落している場合がありますので、梱包されていた箱の中も確認してください。

2・本体についているネジは必ず作業を行う直前にはずしてください。＊先に外してしまうとどの部分のボルトが分からなくなりますので必ずお守りください。）

本体重量がありますので、必ず 2 名以上の大人の方で作業を行ってください。

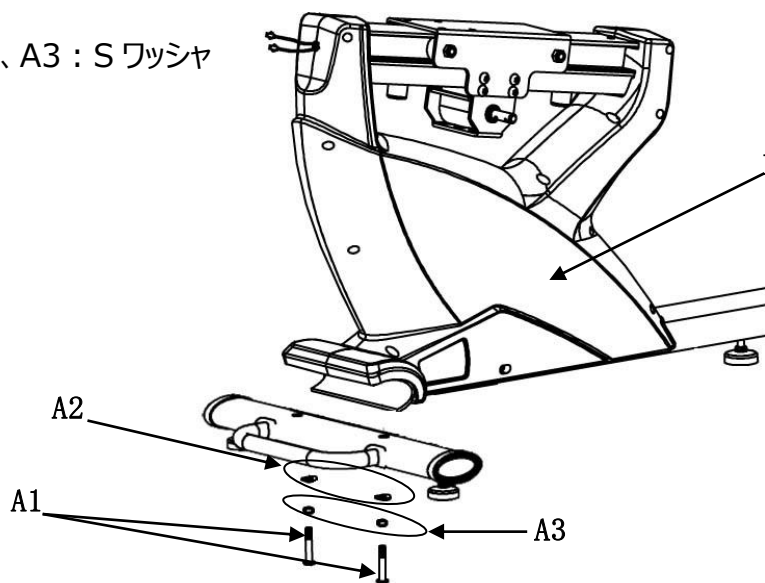
<1> 3 : リアスタンドに、4 : リアフックを A4:ボルト

A5:ワッシャで取り付けます。



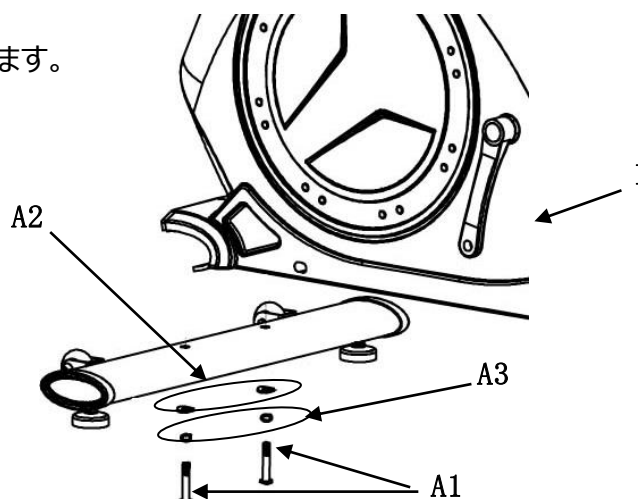
<2> <1> を 1 : 本体に A1:ボルト、A3 : S ワッシャ

A2:ワッシャにて固定します。



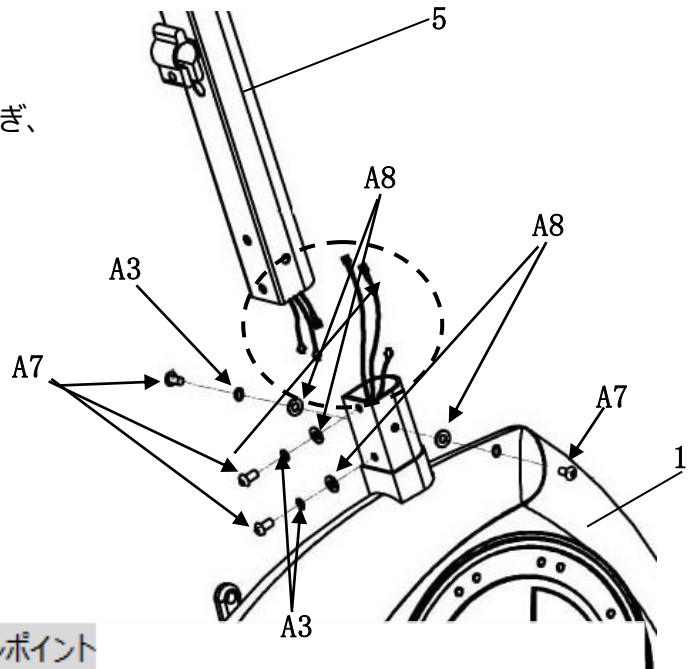
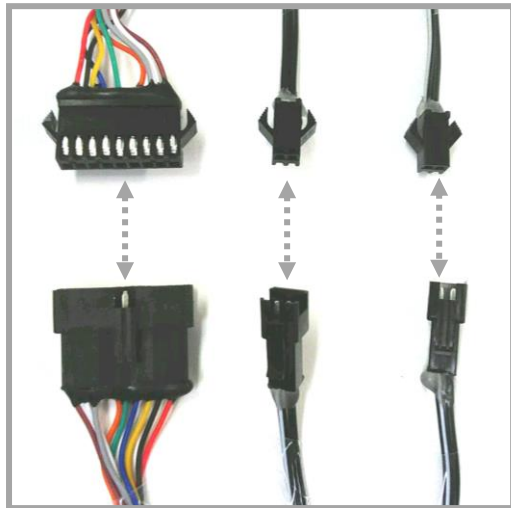
<3> 1 : 本体に 2 : フロントスタンド

A1:ボルト A3 : S ワッシャ A2:ワッシャにて固定します。



<4> 5 : パネルポストにあるコネクタと

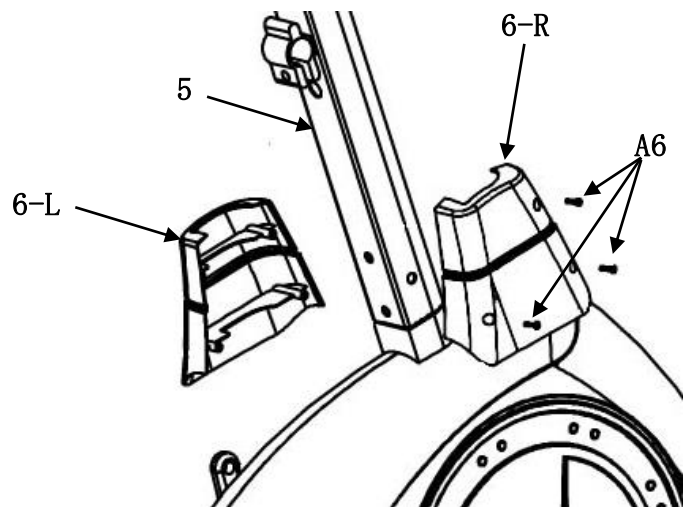
1 : 本体から出ているコネクタ（点線部分）をつなぎ、
1 : 本体に挿入し、A7:ボルト、A3 : S ワッシャ、
A8 : ワッシャで 4 ヶ所固定します。



ワンポイント

配線のコネクタは、3 本ずつ出ていることを確認の上、
オス・メス形状の合うものを接続してください。
(形状の同じものの場合、どちらに差し込んでも大丈夫です)

<5> 5 : パネルポストに 6 : ポストカバーを
A6:スクリーンネジで 3 ヶ所固定します。



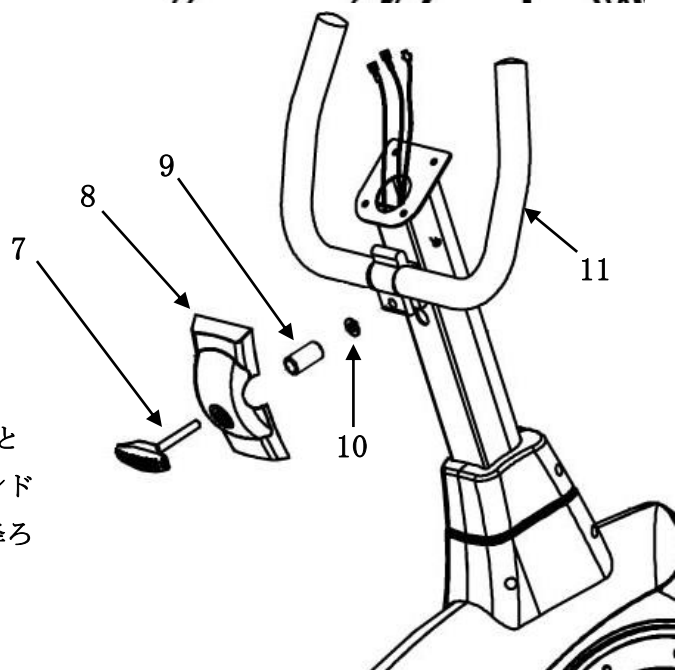
<5> 5 : パネルポストに 11 : フロントハンドルを
10 : ワッシャ、9 : スパースー、8 : ハンドルカバー-1
7 : ハンドルレバーで固定します。



<1>フラップを上げ
ます。



<2>フラップを上げた
ところに 11: フロントハンド
ルを入れ、フラップを降ろ
します。



<6> 12 : パネルから出ているコネクタと

5 : パネルポストから出ているコネクタを

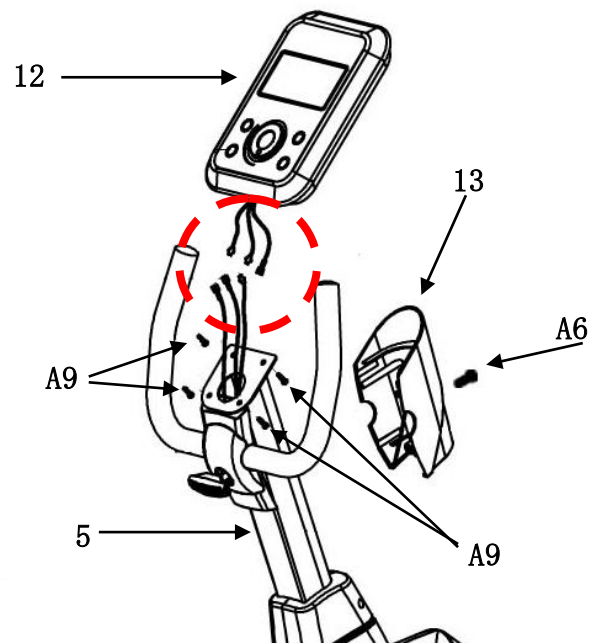
接続し（点線部分）、12 : パネルを 5 : パネルポストに

A9 : ネジ（パネル用）で固定します。

13 : ハンドルカバー-2 を A6:スクリーンネジで固定します。

※A9 : ネジ（パネル用）はパネル裏についていますの

で、コネクタを接続する前に、外してください。



コネクタの接続が確実でない場合
メーターが作動しません。

ワンポイント

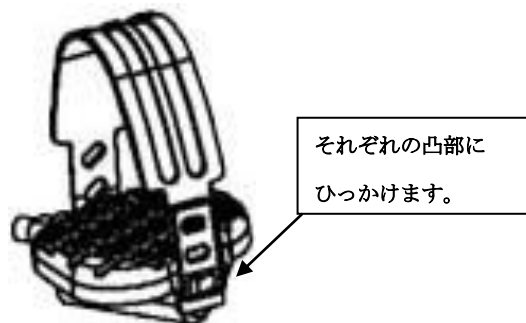
配線のコネクタは、3本ずつ出ていることを確認の上、
オス・メス形状の合うものを接続してください。

（形状の同じものの場合、どちらに差し込んでも大丈夫です）

<7> -①ペダルにバンドを取付けます。

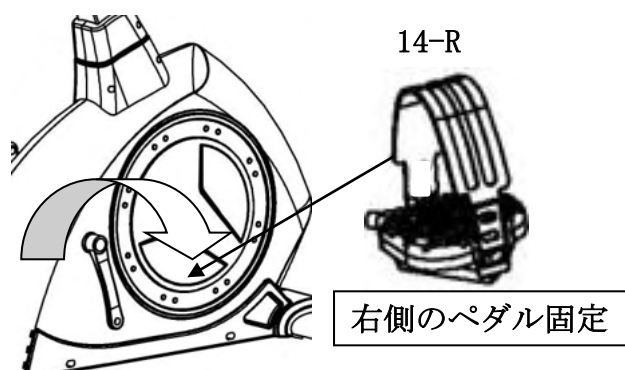
（左（L）、右（R）を間違えないようにして下さい。）

バンド及びペダルにはL（左）・R（右）
の印がありますので、必ず、同じ印の
物を取り付けてください。



それぞれの凸部に
ひっかけます。

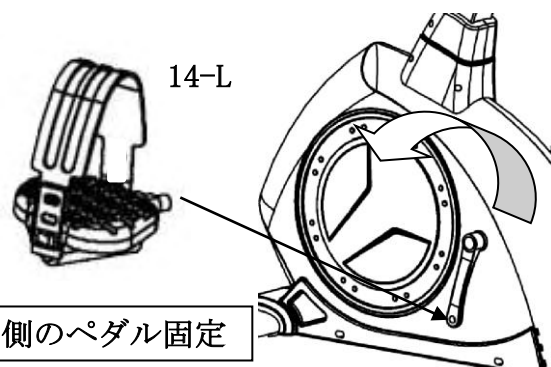
<7> -② ①で組立てたペダルを 1 : 本体①に固定し、
左側のペダルは**左回り（反時計まわり）**に、右側のペダル
は右回しでねじこんでください。（*左ペダルはL、右ペダル
はRのマークがありますので間違えないように確認して取り
付けてください。左右間違えますとネジ山が破損し取り付け
ができなくなりますので注意して組み立ててください。）



右側のペダル固定

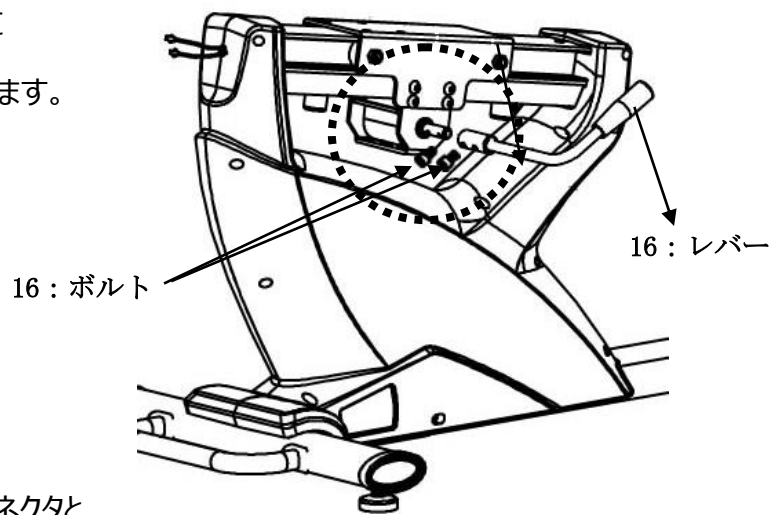
ペダルは垂直に凹部に合わせてから、
回すようにして下さい。

（斜めに回すとネジ山が潰れてしまいますので、
注意してください。）



左側のペダル固定

<8> -① 1 : 本体（後方部分の点線内）に
16 : レバーを差し、16 : ボルト 2 個で固定します。

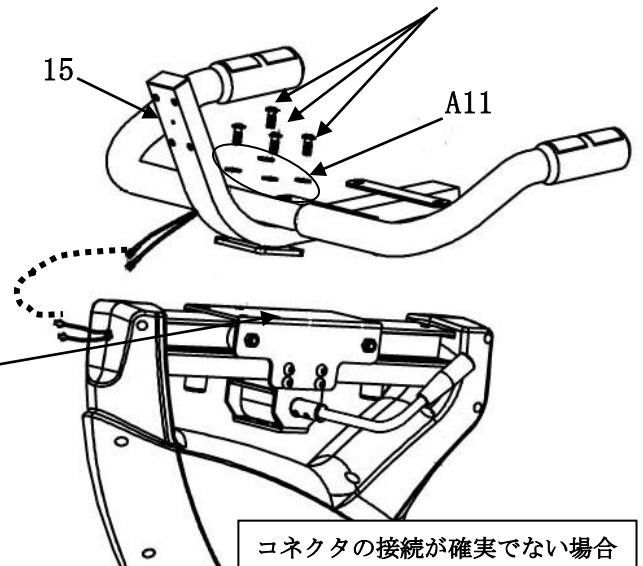


<8> -② 15 : シートフレームから出ているコネクタと
1 : 本体から出ているコネクタ(点線部分)を接続し、
A10 : ボルト、A11 : ワッシャ(4ヶ所)で固定します。

A10

ワンポイント

配線のコネクタは、2 本ずつ出ていることを確認の上、
オス・メス形状の合うものを接続してください。
(形状の同じものの場合、どちらに差し込んでも大丈夫です)



コネクタの接続が確実でない場合
心拍数が作動しません。

シートフレームの固定

前側



基本前側の 4 個の穴で固定して
いただき、足の位置が狭く感じる



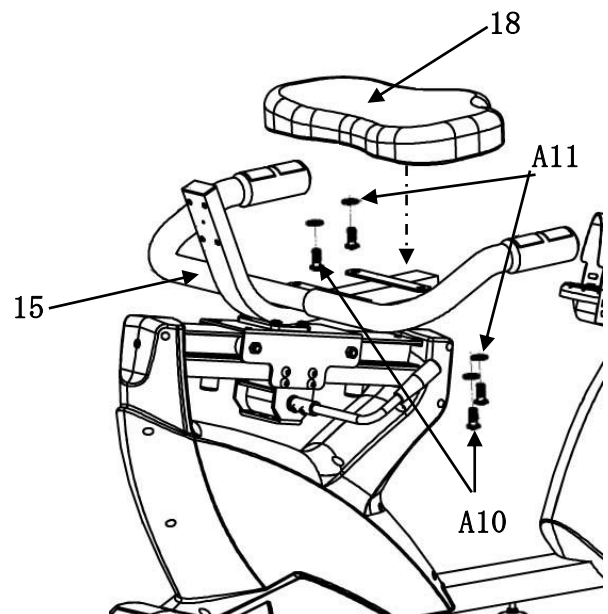
場合は後ろ側の穴で固定して

後側

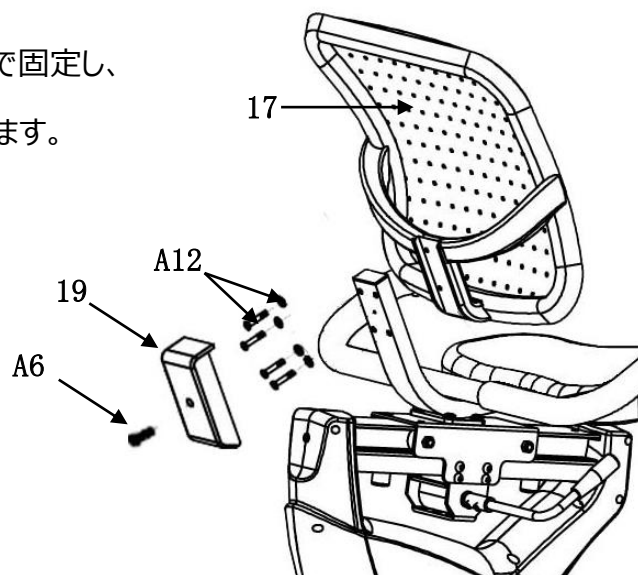


ください。

<9> 18 : サドルを 15 : シートフレームに A10 : ボルト、
A11 : ワッシャで取付けます。(A10 : ボルト、A11 :
ワッシャは 18 : サドル裏についていますので、取り外して
から作業を行ってください。)

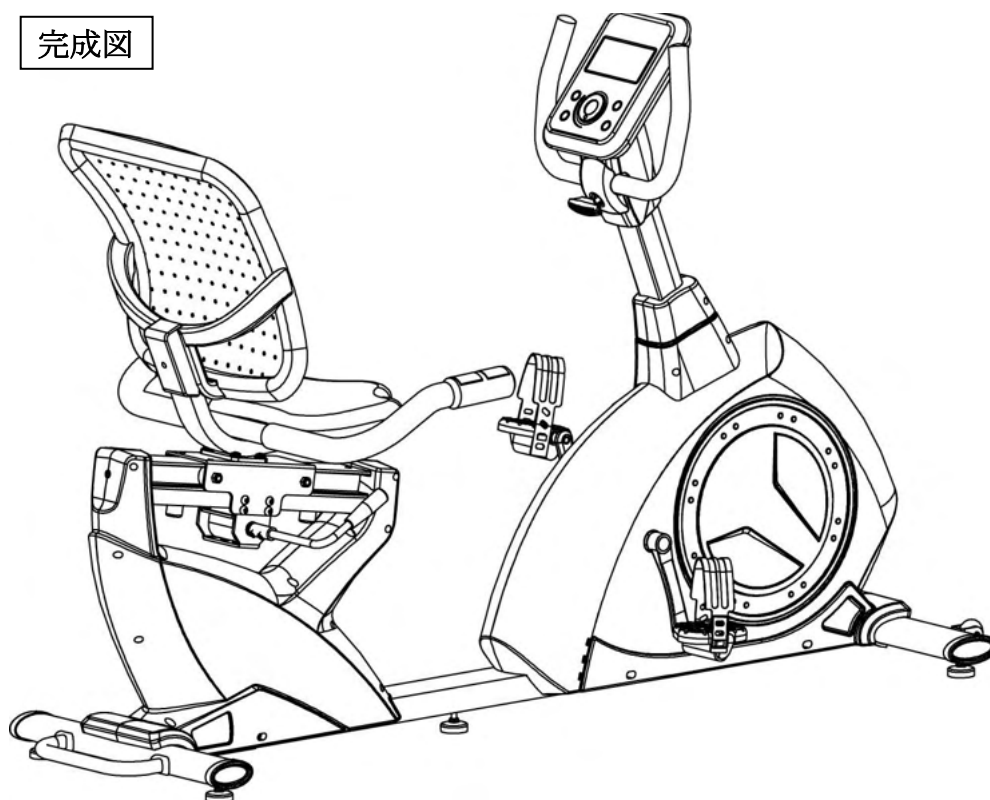


<10> 17 : バックレストを A12 : ボルト・ワッシャで固定し、
19 : カバーをかぶせ、A6 : スクリューネジで固定します。



※組立は以上で終了です。 緩み・ガタつきの無いことを確認の上、設置をお願い致します。

完成図



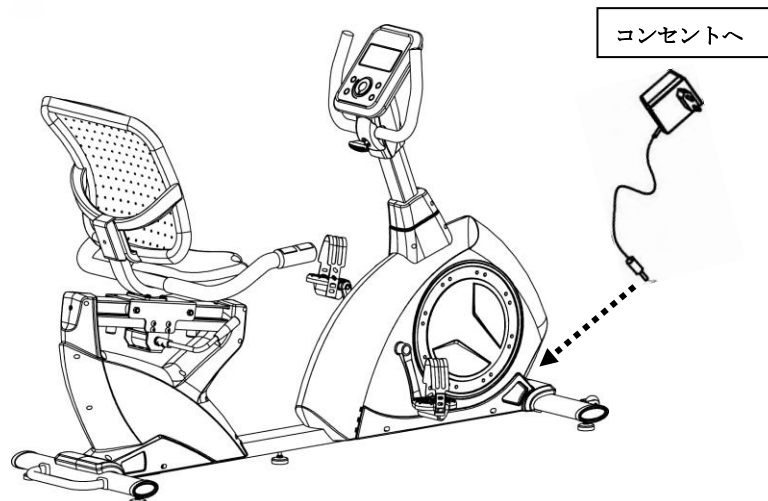
AC アダプターの使用方法

20 : AC アダプターを本機後方の
差し込み口に図のようにさし、アダプター側を
コンセントに接続します。

パネルからピープ音がして、
点灯します。

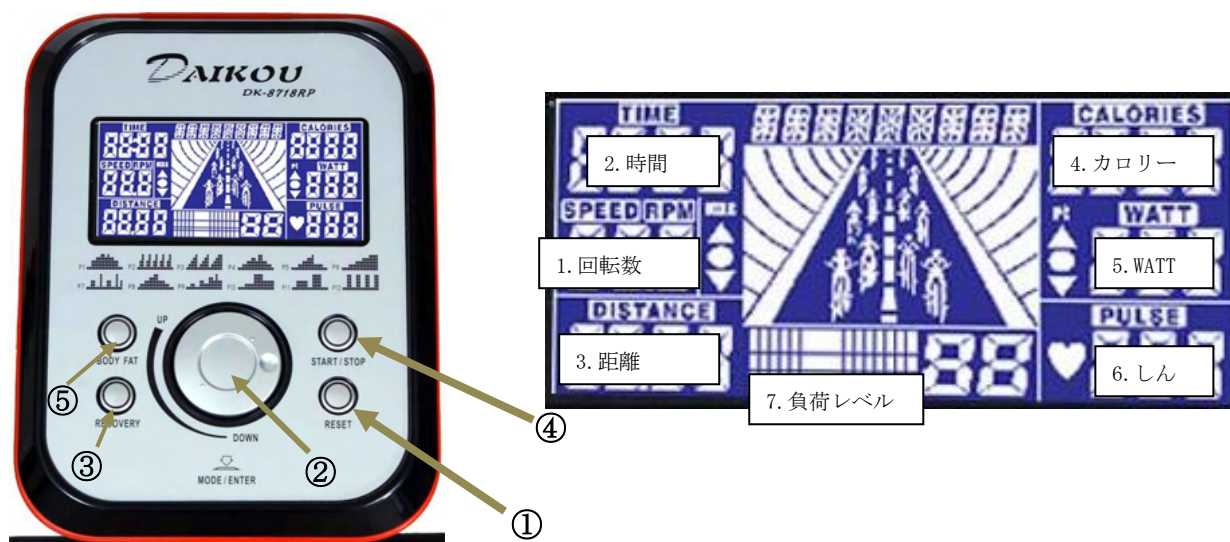
(数分使用しない場合は自然に消灯します。)

*ご使用にならない場合には本体から外しておいてください。



パネル説明

操作を 4 分以上行わない場合には、スリープモード（パネルの表示が消えます。）に入ります。



- ① RESET：設定を「0」・体脂肪を測るときに押します。（*総距離は「0」になりません。）
- ② ジョグホイール・MODE/ENTER：運動を行っていない時に時間、距離、カロリーの目標値を設定するキーです。（押す）
運動を行っている時に「負荷」のレベルを調整します。（回す場合）
- ③ RECOVERY：数値を入力するとき、リカバリーを行うとき押します。
- ④ START/STOP：数値等を入力するキーです。
- ⑤ BODY FAT：運動を行っていない時に体脂肪を測るときに押すキーです。

パネル表示について

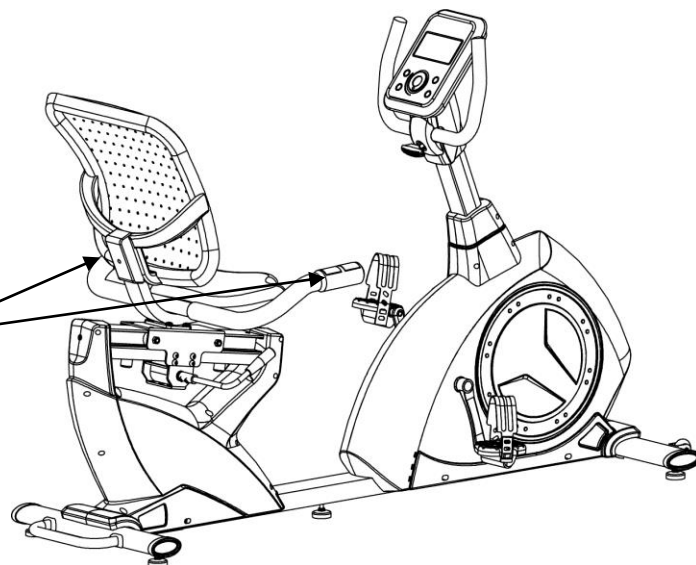
- 1. SPEED・RPM：速度か回転数が表示されます。
- 2. TIME：運動時間が表示されます。STOP または PAUSE 状態のときにモードキーを押し、任意に 1 分単位で設定し運動が行えます。任意に設定した時間からカウントダウンし、0 になったときに音がします。
- 3. DISTANCE：距離の表示をします。STOP または PAUSE 状態のときにモードキーを押し、任意に 0.1km 単位で設定し運動が行えます。任意に設定した距離からカウントダウンし、0 になったときに音がします。
- 4. CALORIES：カロリーを表示します。STOP または PAUSE 状態のときにセットキーを押し任意に 10 kcal単位で設定し運動が行えます。任意に設定した時間からカウントダウンし、0 になったときに音がします。
- 5. WATT：ワットを表示する。
- 6. PULSE：脈拍数を表示します。両手でハンドル部のパルスを握ることにより測定できます。パルスを握らない場合、表示されません。
- 7. 負荷レベル：ジョグホイールを回し、任意の負荷に設定できます。* 負荷の調整

脈拍数のはかり方

ハンドルのパルス部分(銀色の部分)を
それぞれの手で同時に数秒握ります。

(右図を参照してください。)

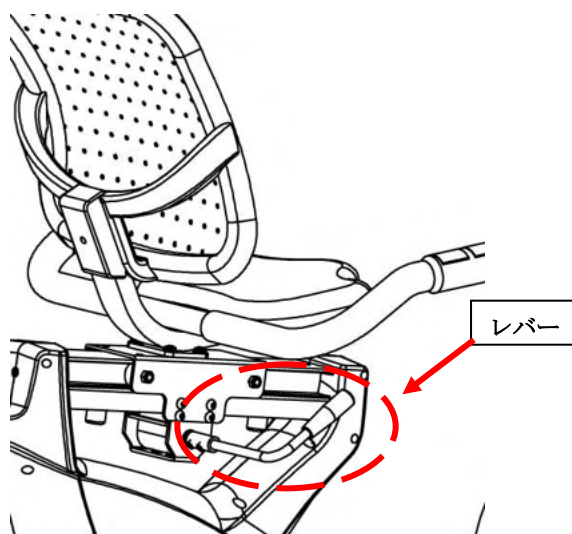
この部分を両手で
握ってください。



シートスライドの方法

<1> シート脇のレバーを降ろします。

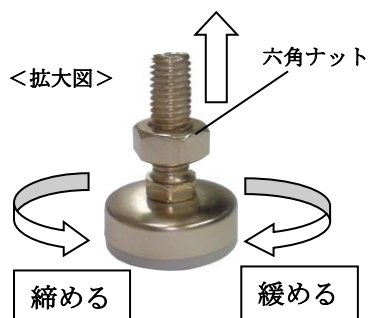
<2> シートを任意の位置にずらしてレバーを
あげて固定します。(レバーを確実に上げて固定しないと、
エクササイズ中に動きますので確実に固定してください。)



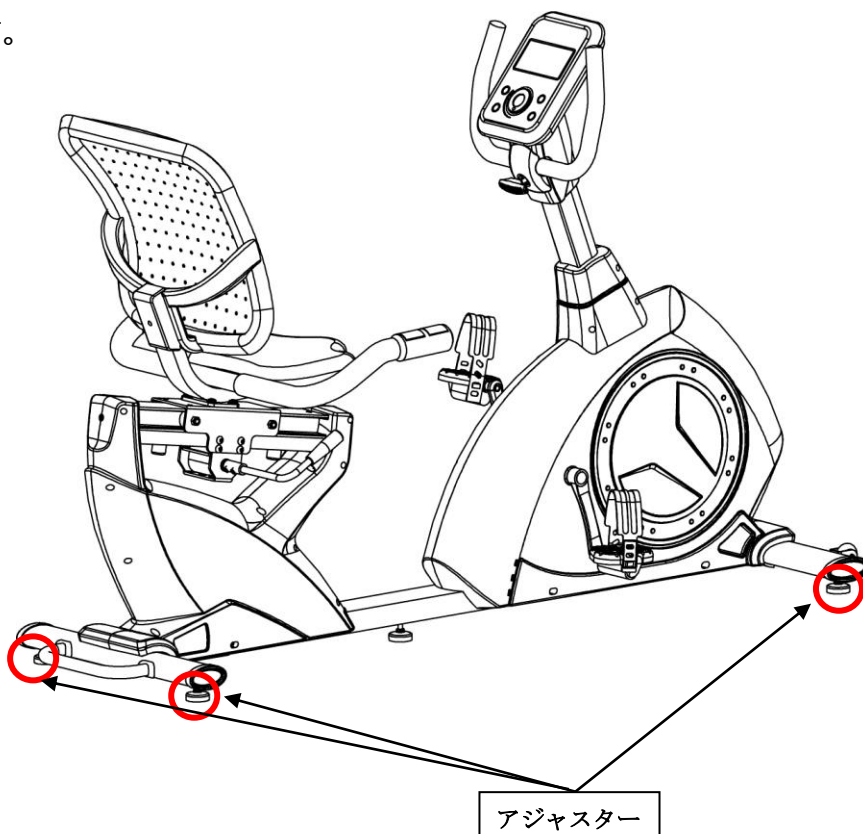
アジャスター調整方法

脚部 4ヶ所の「アジャスター」で調整します。

調整は必ず 2 名以上の大人の方で行ってください。



下の土台の部分を調整し、
真中の六角ナットをレンチで
本機の側へ締めあげていきます。



<電源 ON・OFF について>

本機には電源のスイッチはございません。全く触れない状態が連続約 4 分続いた場合、自動で消灯（SLEEP モード）いたします。

・電源を ON にする

A/C アダプターを本機にさし、コンセントにつなぐ。「ピー」音になり、パネルが点灯します。

＊ SLEEP モードの場合→パネルのいずれかのボタンを触るかペダルを漕ぐ。

・電源を OFF にする

本機には電源スイッチがありません。本機に全く触れない状態が約 4 分以上続いた場合に自動で消灯（SLEEP モード）になります。

※ A/C アダプターを本機から抜き、長時間ご使用にならない場合、設定したユーザーデータ等が消去される可能性があります。その場合にはお手数ですが改めて最初から設定し直してください。

<運動を簡単に始めるには>

すぐに運動を始めたい方や、目標数値を入力せずに運動を始めたい方にお勧めです。

①電源を ON にする。→②  SELECTUSER の画面が出ます。

③  START/STOP のボタンを押す→④  画面上部に“MANUAL”と表示され、漕ぎ始めるとそれぞれの表示が変化していきます。

運動中の負荷レベルは  ジョグホイールを回すことにより 1～16 段階で任意に設定ができます。

＊負荷の調整は設定した数値まで上がり（下がり）きるまで次の数値にはしないで下さい。

故障の原因になります。

＊運動を一時中断したい場合には、 START/STOP のボタンを押します。

本機を全く触れない状態が連続約 4 分続いた場合、自動で消灯（SLEEP モード）いたします。

<本機についている様々な機能で運動をしたい方>

本機には色々な設定を行うことにより、自身にあった運動をすることが可能です。

●ユーザー設定（U1～U4）

本機では4人のユーザー管理ができ、使用者ごとの性別・年齢・体重・身長を本機に記憶させることができます。

これらの数値を入力しない場合、簡易体脂肪計を適正に使用することができなくなります。

①ユーザー選択（U1～U4を選択します。）



画面上部に「SERECT USER」と表示されますので



（ジョグホイールボタン）を押し、「U1」が表示、



押し選択する。

（*U2～U4を選択する場合には  ジョグホイールをまわして選択してください。）

②性別の設定(性別を入力します。ジョグホイールを回し選択します。)

SEX(性別)→ 押す→MALE（男性）/FEMALE（女性） 押す

③年齢の設定（任意の年齢をジョグホイールを回し選択します。）

AGE（年齢）→ 押す→1～99（選択） 押す

④身長の設定（任意の身長をジョグホイールを回し選択します。）

HEIGHT（身長）→ 押す→100～250（選択） 押す

④体重の設定（任意の体重をジョグホイールを回し選択します。）

WEIGHT（体重）→ 押す→20～150（選択） 押す

以上でユーザー設定は完了です。（U2～U4を入力する場合には①で U2～U4 を選択してください。）

<色々な運動方法について>

ユーザー設定を完了した後、 「SELECT WORKOUT」と表示されますので、（ジョグホイール）を回しますと、MANUAL→PROGRAM→USER PROGRAMU→H.R.C→WATT.の順に表示されますので、お好みの所で （ジョグホイール）押し選択します。

① マニュアルモードでの運動方法

画面上部に“MANUAL”と表示されたら （ジョグホイール）を押して選択します。

①設定をしないで運動を行う



“START/STOP”を押してから漕ぎ始めてください。（表示が変化していきます。）

②設定を行って運動を行う * 連続使用時間(60 分まで)を超えての設定はおやめ下さい。

(1)目標時間を設定(1 分単位で設定)

“TIME”が点滅しますので  (ジョグホイール)を回し、任意の時間に合わせ、
 (ジョグホイール)を押し設定します。→漕ぎ始めると数値が減算していきます。

(2)目標距離を設定 (0.1km 単位で設定)

“DISTANCE”が点滅しますので  (ジョグホイール)を回し、任意の距離を合わせ、
 (ジョグホイール)を押し設定します。→漕ぎ始めると数値が減算していきます。

(3)目標カロリー(10kcal 単位で設定)

“CALORIES”が点滅しますので  (ジョグホイール)を回し、任意のカロリーを合わせ、
 (ジョグホイール)を押し設定します。→漕ぎ始めると数値が減算していきます。

(4)目標心拍数を設定 (30～230 の範囲内で設定、ハンドルのパルス部分をそれぞれ手で握らないと行えません。)

“PULSE”が点滅しますので  (ジョグホイール)を回し、任意の心拍数を合わせ、
 (ジョグホイール)を押し設定します。→漕ぎ始めます。

* 目標心拍数を設定しても運動は終了いたしません。設定した心拍数を上回ると「ピッピ」と警告音が鳴ります。

 “START/STOP”を押して運動を行うと設定した目標数値がカウントダウンしていきます。(設定していない数値はカウントアップしていきます。)

●目標時間・目標距離・目標カロリーを同時に設定した場合、設定したうちのいずれかの目標が達成されると運動が終了いたします。

●運動を中止する場合には  “START/STOP”を押してください。

●負荷は  (ジョグホイール)を回し、1～16 の任意の数値に設定できます。

2 プログラムモードでの運動方法 [設定時間(20 分)の変更はできません。]

画面上部に“PROGRAM”と表示されたら  (ジョグホイール) を押して選択します。

(プログラムは P1～P12 まであり、それぞれ負荷が下記のようにランダムで変化します。)



PROGRAM1～12 を  (ジョグホイール)回して選択し、 (START/STOP)を押して運動を始めます。

③ ユーザープログラムでの運動方法 [設定時間(20 分)の変更はできません。]

16 段階に負荷を調整し、使用者の好みで設定することができるプログラムです。(ジョグホイール)

- ①画面上部に“USER PRO”と表示されたら  (ジョグホイール) を押して選択します。
- ②負荷レベルのウィンドウが点滅しますので、 (ジョグホイール) を回し任意の負荷に設定し
 (ジョグホイール) を押し決定します。(この作業を 16 段階まで行います。)
- ③16 段階終了後  (ジョグホイール) を押して決定させ“TIME ”の所に 20 : 00 が表示されます。
- ④  (START/STOP) を押して運動を始めます。

④ ハートレートコントロールでの運動方法 (ハンドルのパルス部分をそれぞれ手で握らないと行えません。)

- ①画面上部に“H.R.C”と表示されたら  (ジョグホイール) を押して設定します。
 - ②“AGE”と表示されますので、「年齢」を  (ジョグホイール) をまわし、押して設定します。
 - ③②で入力した年齢から計算した最大心拍数の 55%・75%・90%  (ジョグホイール) を回し選択するか、ご自身でお好みの心拍数を設定する“TARGET H.R.C”を選択し、押して設定します。
(“TARGET H.R.C”を選択した方は、任意の数値を  (ジョグホイール) をまわし、押して設定します。)
 - ④“TIME”のところが点滅しますので、目標時間を  (ジョグホイール) をまわし、押して設定します。
(目標時間を設定しない場合でも運動を行うことができます。終了する際は、お好みのタイミングで終了させて下さい。)
 - ⑤  (START/STOP) を押して運動を始めます。設定時間になると終了します。
- このプログラムは心拍数を必要としますので、ハンドルパルスの部分を握って行ってください。
(握らない場合、画面上部に“NEED HR”と表示されます。)
 - 負荷の調整はできません。運動中は設定した数値をもとに適した負荷強度になりますので、負荷が急に变化する場合があります。
 - 運動中に設定された最大心拍数を一定時間超えてしまう場合、お身体の安全上自動的に停止する場合があります。

⑤ ワットコントロールでの運動方法

- ①画面上部に“WATT”と表示されたら  (ジョグホイール) を押して選択します。
 - ②“WATT”の欄に「120」と表示されますので、自身が行いたい数値 (10～350) に  (ジョグホイール) をまわし、押して設定します。
 - ③“TIME”のところが点滅しますので、目標時間を  (ジョグホイール) をまわし、押して設定します。
(目標時間を設定しない場合でも運動を行うことができます。終了する際は、お好みのタイミングで終了させて下さい。)
 - ④  (START/STOP) を押して運動を始めます。設定時間になると終了します。
- 運動中は設定した数値をもとに適した負荷強度になりますので、負荷が急に变化する場合があります。
 - 運動中“WATT”の設定数値の変更をすることが可能です。

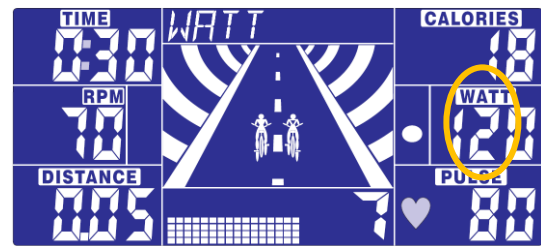
＜WATT プログラム運動中のパネル表示について＞

△…WATT 設定値より適正值より多少速い状態

○…WATT 設定値の適正值ない

▽…WATT 設定値より適正值より多少遅い状態

“WATT”欄に「---」表示された場合に警告音が鳴ります。



体脂肪の測定方法（*この機能は、あくまでも簡易的ですので参考程度にご使用ください。）

①運動を行っていないあるいは一時停止している状態にします。

②パネルの“BODY FAT”を押します。

③性別の設定(性別を入力します。ジョグホイールを回し選択します。)

SEX(性別)→ 押す→MALE（男性）/FEMALE（女性） 押す

④年齢の設定（任意の年齢をジョグホイールを回し選択します。）

AGE（年齢）→ 押す→1～99（選択） 押す

⑤身長の設定（任意の身長をジョグホイールを回し選択します。）

HEIGHT（身長）→ 押す→100～250（選択） 押す

⑥体重の設定（任意の体重をジョグホイールを回し選択します。）

WEIGHT（体重）→ 押す→20～150（選択） 押す

⑦ハンドル部のパルス部分をそれぞれ 10 秒ほど握ります。

⑧「BMI」・「FAT」の数値が出ます。（単位%）

●測れない場合「E-1」が出ます。その場合、“BODY FAT”を押し、再度行ってください。

●「E-4」が出た場合、ユーザー設定の際、入力数値に不備がある可能性がありますので、再度入力し直してください。

ユーザー設定、変更がない場合には⑦に進んでください。

回復（リカバリー）運動後の心拍回復度合いが計測できます。

本機能を行う際、運動を行ってある程度心拍数を上昇させてから行ってください。

①“SPEED”を「0」の状態にします。

②パネルの“RECOVERY”ボタンをおし、ハンドルのパルス部分をそれぞれ 60 秒間握ります。

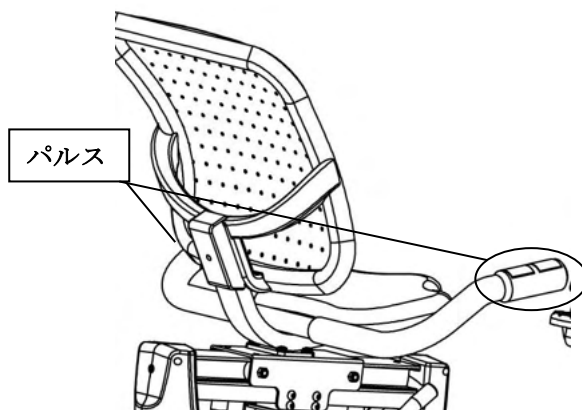
③パネルの“TIME”に 60 秒からカウントダウンをしていき「0」になったときに、

F1（回復に度合いが大変良い）～**F6**（回復度合いが大変悪い）の 6 段階で表示されます。

以下の場合には計測ができないことがあります。

- ＊ 運動中に本機能はご使用できません。
- ＊ 60 秒の途中で心拍センサーから手を離す。
- ＊ “RECOVERY”ボタンを押し、脈拍が計測できない時…等

この機能は日々の運動の参考程度にご使用ください。



故障かなとおもったら…

下記のような症状が起こった場合に、故障と判断される前に下記の点をお調べください。

症状	原因	処置
パネルが表示されない	・AC アダプターが本機・コンセントにささっていない ・接続コネクタがつながっていない	・AC アダプター差してください。 ・コネクタの接続を確認してください。（組立方法＜4＞・＜6＞を参照してください。）
ペダルの取り付けができない	・ペダルの左右を間違えている。	・ペダルの刻印「L」・「R」を確認し、組立方法の＜7＞を参照して組み直しを行ってください。
脈拍が出ない	・接続コネクタがつながっていない ・パルス部をそれぞれ同時に握っていない。	・組立方法＜4＞・＜6＞・＜8＞を参照に接続し直してください。 ・パルス部を同時に数秒間握ってください。
コトコト音がする	ペダルが緩んでいる。	・左右のペダルを一旦外し、つけ直す。
グラグラする	床面が平らでない	・設置場所をかえる。 アジャスターを調整する。
ギンギン音がする	各ボルト等が緩んでいる。	・緩んでいるボルト等を一旦外しつけ直す。 ・アジャスターで調整する。

お手入れ上の注意

- 汚れや使用後の汗等は、乾いた布等で必ず、ふき取ってください。
(そのまま放置した場合、サビ・腐食・故障等の原因になります。)
- 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭かないでください。
- パネルの汚れや汗、水分等は乾いた布で拭いてください。
(パネルの誤動作・故障の原因になります。)

使用する前に各ボルトに緩みがないかを必ず点検してください。

緩みがある状態で使用した場合、破損する可能性があります。

保 証 書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品 名	DK-8718RP 家庭用 リカンベントバイク(電動負荷方式)
保 証 期 間	お買い上より1年間
お買上げ日	年 月 日
お名前	
ご住所	
TEL	- -

販売店：

(1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。

(2) 保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店・輸入販売元にご依頼下さい。

その際には本書をご提示ください。

(3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。

- お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
- 本来の使用目的以外、本書記載の注意事項違反による故障及び損傷
- 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公害・塩害等による故障及び損傷
- 保管上の不備による故障及び損傷（本書2頁10）参照）
- 不当な修理、改造による故障及び損傷
- 設置場所等の床面などの損傷
- 本保証書の添付のないもの

(4) 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。

(5) 一般家庭以外に使用された場合は、無償修理交換の対象になりません。

(6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

(7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理いたします。

(8) 本保証書は日本国内のみ有効です。

(9) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。

ただし、商品をお届けした際の配送伝票がある場合はその限りではありません。

(10) 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル：0120-25-1622

* 携帯電話、PHS、IP電話からはご利用になれません。

受付時間：平日AM10～PM12時、PM1～5時までになります。

輸入販売元 大広 株式会社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-41-4 2F

TEL：03-5652-5056 FAX：03-5652-5078

受付時間（平日AM10：00～12：00 PM1：00～5：00）土・日・祝日休み